

2024年度 大学院一般入試第3回 出題の意図

経済経営学研究科 経済学専攻

科目	出題の意図
国際経済	<p>国際貿易や国際投資に関する基礎的知識を確認するとともに、1990年代以降のグローバル化の進展や2007年以降の世界金融危機後の停滞といった最近の世界経済の動向に対する理解を問うものである。さらに、国際貿易や国際投資の拡大・停滞要因を複数挙げて整理し、論理的に説明できるかどうかを評価することを意図している。</p>
観光経済	<p>(1) いずれの問題も、日本の大学において観光教育が進むようになったきっかけである21世紀に入ってから観光行政の拡充と2010年代以降のインバウンドブームについて、基礎的内容が理解できているかを問うている。設問(1)においては、2010年代以降のインバウンドブームについてその概要が理解できているかどうかを問うており、その中で訪日外国人観光客の概数まで解答できることが望まれる。また、このインバウンドブームが生まれた要因が、経済環境要因と政策的要因に分けられることを理解できていることが望ましい。</p> <p>(2) 観光・旅行は学問分野としてさまざまな分野で論じられるので、体系的な枠組みを定義しにくい。経済学の基礎理論、特にマクロ経済学において国際観光がどのように位置づけられるかを問うものである。特に、外国人旅行消費（外国人観光消費）が理論的には輸出の一部と位置付けられるものの、国際収支の実務においてはサービス収支の中の旅行収支に含まれているということを理解できていることが望ましい。</p> <p>(3) 日本のインバウンドブームが国際的な観光ブームだけで説明できるものではなく、21世紀に入って日本政府の大きな政策方針が背景にあったことを理解できているかどうか問うものである。日本経済の大きな流れとして貿易立国だけを日本経済の推進力とすることが困難になり、観光立国という言葉に代表されるように、サービス経済の重要性が意識される政策方針が進められたことを問うている。日本政府の観光行政に関する客観的事実を理解していることが望ましい。</p>

経済経営学研究科 経済学専攻

科目	出題の意図
経営情報	<p>経営情報学の観点から企業を取り巻く経営環境について理解し、事例を用いながら自分の考えを論理的に表現できるかを問う問題である。</p>
企業経営	<p>大学院入学に値する経営学についての基礎的知識が身についているかを確認するために、出題した。</p>
会計	<p>修士課程で会計学分野の研究を行うために求められる、会計学の基礎知識が理解できているかを問う問題である。</p>

2024年度 大学院一般入試第3回 出題の意図

理工学研究科 博士前期課程 社会開発工学専攻

科目	出題の意図
専門科目 計画系	都市建設や環境保全（土木系）、建築設計や建築生産(建築系)、住環境をつくる環境技術や空間デザイン（住環境系）のいずれかに関する基礎的知識や、研究活動を行うための数理能力を確認する。特に、持続可能な建築、都市、地域の創造に向けて、建築計画、都市計画、地域計画、空間設計、歴史・意匠、まちづくり等の諸分野において、安全・安心、かつ真に豊かな生活環境の保全、管理、提案に貢献するための研究活動に必要な基礎知識を確認する。
専門科目 環境系	都市建設や環境保全（土木系）、建築設計や建築生産(建築系)、住環境をつくる環境技術や空間デザイン（住環境系）のいずれかに関する基礎的知識や、研究活動を行うための数理能力を確認する。特に、光、音、空気、熱、水、土などの様々な環境要素に着目して、安全・安心、快適、かつ持続可能な生活環境を評価、分析、制御する研究活動に必要な基礎知識を確認する。
専門科目 構造系	都市建設や環境保全（土木系）、建築設計や建築生産(建築系)、住環境をつくる環境技術や空間デザイン（住環境系）のいずれかに関する基礎的知識や、研究活動を行うための数理能力を確認する。特に、土木・建築の構造物とそれらを支える地盤についての力学的問題を究明し、安全でより合理的な各種構造物を開発・設計する研究活動に必要な基礎知識を確認する。